

第31回日本緩和医療学会学術大会

パシエント・アドボケイト・ラウンジ Patient Advocate Lounge(PAL)

参加者の手引き

主催  特定非営利活動法人
日本緩和医療学会
Japanese Society for Palliative Medicine

2026年6月19日(金)～20日(土)
福岡国際会議場・マリンメッセA館/B館

大会長 **余谷 暢之** 国立成育医療研究センター 総合診療部緩和ケア科



テーマ：**こえをきき、ともにつくる**

緩和ケアが特別なものではなく、すべての人にとって身近なもの(ユニバーサルなもの)として、
社会と共に生まれ、考えられるきっかけに

■日程：2026年6月19日(金)～6月20日(土)

■学術大会会場：福岡国際会議場・マリンメッセ福岡 A 館・マリンメッセ福岡 B 館

■PAL会場：マリンメッセ福岡 A 館 1 階 多目的展示室(アリーナ)

■大会長：余谷 暢之 (国立成育医療研究センター 総合診療部緩和ケア科)

第31回日本緩和医療学会学術大会
PAL 運営委託：全国がん患者団体連合会

患者アドボケイト・ラウンジ(PAL)参加者の皆様へ

第 31 回日本緩和医療学会学術大会患者アドボケイト・ラウンジ(PAL)開催にあたって

特定非営利活動法人日本緩和医療学会は、緩和医療の発展と普及を目指し、医療従事者だけでなく、患者さんやご家族、市民の皆さまとともに歩んでまいりました。

第 31 回学術大会のメインテーマは、「こえをきき、ともにつくる」です。

今回の PAL(患者アドボケイト・ラウンジ)は、これまでの交流の場から一步踏み出し、患者・家族・医療者がこれからの緩和医療のあり方を考え、形にする「共創の拠点」を目指します。

「診断時からの緩和ケア」を動かす

現在、私たちは「診断時からの緩和ケア」という理念を掲げながらも、現場ではいまだ多くの「壁」に突き当たっています。今回の PAL 企画では、この課題に正面から向き合います。

- 前半(ランチオン): 長年この歩みを牽引してこられた池永昌之先生より、これまでの実感と、直面してきた課題・壁についてお話しいたします。
- 後半(ワークショップ): 池永先生の問いかけを受け、「『知っている』からその先へ ~患者と医療者で考える普及啓発~」をテーマにディスカッションを行います。
- この対話を通じて、私たちが目指すべき未来への指針を、ひとつの「声明」として発信することを目指します。

大会全体で「こえ」を響かせる

PAL での議論は、ラウンジの中だけでは終わりません。

大会 2 日目の「いのちの交差点」では、市民の方々も参加し、共に考える場をご用意しています。PAL で交わされた熱い対話を大会全体の大きなうねりへと繋げ、参加者全員でこれからの緩和医療の在り方について考えたいと思います。

皆さまへ

PAL は、皆さまの経験や想いを合わせて緩和医療のこれからを考える場所です。

「緩和医療の情報を知りたい」という方はもちろん、「自分の経験を未来に活かしたい」と願うすべての方を歓迎します。休憩スペースも設けておりますので、どうぞ安心してお越しください。

これまでの緩和医療を大切にしつつ、新しい形を「ともにつくる」ために。

福岡の地で皆さまの「こえ」を聴かせていただけることを、心より楽しみにしております。



第 31 回日本緩和医療学会学術大会

大会長 余谷 暢之

(国立成育医療研究センター 総合診療部緩和ケア科)

■PAL会場：マリンメッセ福岡 A館 1階 多目的展示室（アリーナ）



1.PAL プログラムについて

下記①～②は PAL 参加者のための特別プログラムです。

参加される日に予定されているプログラムには、必ずご参加ください。

2日間ともにオリエンテーションがありますので、ご参加をお願いいたします。

※会期中の PAL プログラムのライブ配信はございません

※5月19日(火)正午から受付を開始するオンデマンド配信について、現地参加者の方は事前申し込み無しでご視聴いただけます

① PAL 企画1-ランチョン

日時 6月19日(金)12:30-13:20

概要 緩和ケア普及啓発活動 これまで、そしてこれから(仮題)

演者 池永 昌之 (淀川キリスト教病院 緩和医療内科)

② PAL 企画2-ディスカッション

日時 6月20日(土)13:35-15:00

概要 「知っている」からその先へ ～患者と医療者で考える普及啓発～

ランチョンセミナーでの池永先生の問いかけを受け、普及啓発をテーマに PAL 参加者と医療者と共にディスカッションを行います。

※大会長推奨プログラムを後日公開いたします

2. 当日の参加について

(1) 受付：福岡国際会議場 1階 PAL 受付

★参加費 3,000 円のお支払いをお願いします

※参加費は 1 日だけの参加でも同額となります

※なるべくおつりがないようにご用意いただけますと助かります

※博多駅と福岡国際会議場、および福岡国際会議場とマリンメッセ A 館の間にシャトルバスを運行いたします。詳細は後日、ホームページにてご案内いたします。

(2) 休憩場所

マリンメッセ福岡 A 館内

※2 日間とも休憩場所をご用意いたします。

(3) 昼食

2 日間ともお弁当を準備しています。受け取り場所が初日と 2 日目で異なります。受付の際にお渡しする案内に詳細を記載しますので、必ずご確認ください。2 日間ともに、お弁当のお渡しは 11:30~13:00 までです。13:00 を過ぎると受け取れなくなる場合がありますのでご注意ください。

(4) オリエンテーション

両日とも 12 時 20 分から、学術集会からのお知らせや参加にあたってのお願いなどをお伝えします。

3. 現地参加にあたってのお願い

・参加者の中には、治療中の方やそのご家族もいらっしゃいます。皆さまに安心してご参加いただくため、参加に際して共通理解が必要な事項については、随時ご案内いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

・体調がすぐれない場合は、無理をなさらず、すみやかに本部(連絡先は次ページに記載)までご連絡ください。

・ご自身の体調を最優先に、ご無理のないようご参加ください。何かお困りのことがあれば、遠慮なく運営スタッフにお知らせください。

4. 学術大会の PAL 以外の医療者向けプログラム(本会)について

PAL プログラムにご参加の皆様は、6 月 19 日、20 日両日の本会プログラム・セッションもご聴講いただけます。学術大会全体のプログラムは、第 31 回日本緩和医療学会学術大会 HP でご確認ください。

【重要】本会プログラム・セッションを聴講する際の注意

※薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)の「広告の制限」により、お昼の時間帯の企業共催セミナーにはご参加いただけませんので、ご注意ください。

※本会では PAL プログラム参加者からの発表者・医療従事者への質問は禁止です。

※本会ポスター発表も PAL プログラム参加者からの発表者・医療従事者への質問は禁止となります。

※企業ブースへのお立ち寄りも禁止となります。

5. ご参加いただく際の注意点(PAL プログラム・本会共通)

- (1) 発表内容が映り込む撮影や、動画ストリーミング画面のスクリーンショット、動画収録、音声録音は禁止です。
- (2) 講演内容をブログや Facebook、X(旧 Twitter)などの SNS へ投稿することも、固くお断りいたします。
- (3) PAL・本学術大会プログラムに関する資料の配布はありません。

6. オンデマンド配信について

現地でのご参加が難しい方のために、5月19日(火)正午より「オンデマンド配信コース」の募集をいたします。

会期中に現地でご参加されたみなさまには、お申し込みなしでオンデマンド配信をご覧いただけます。

オンデマンド配信の URL、配信開始日に関しては、オンデマンド配信コース募集終了後、改めてご連絡いたします。

オンデマンド配信では、PAL プログラムの他に、本会のプログラムも(一部を除き)ご視聴いただけます。

7. PAL プログラムに関するお問合せ先

第 31 回日本緩和医療学会学術大会 運営事務局

※学術大会全体に関するお問い合わせもこちらで受け付けます。

メール: jspm31@jtbc.com.co.jp

電話: 092-751-3244 (6月18日まで)

<受付時間: 平日 10:00~17:00(休:土・日・祝日)>

◇当日連絡先: 070-3601-5419 (6月19日(金)から6月20日(土) 9:00 から 18:00 まで)

※特に会期中は限られたスタッフで運営にあたっていますので、お問合せへの対応に時間をいただく場合があります。ご了承ください。なお、ワーキングメンバーへの直接のお問合せはご遠慮ください。

8. PAL プログラム終了後アンケートご協力をお願い

後日、アンケートをお願いいたします。回答用の URL をメールでお送りしますので、ご協力をお願いいたします。